

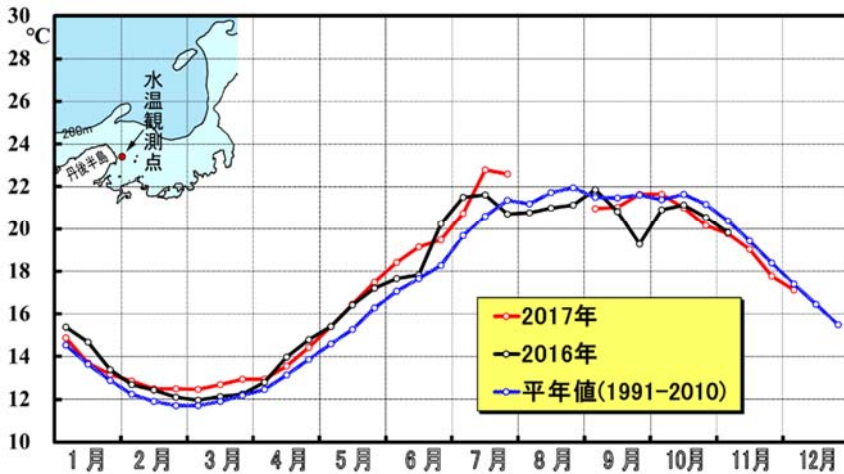
# 京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況 ～2017年1月から12月まで～

表層の水温は、8月下旬ごろまで例年より高めで推移しましたが、10月以降は例年並みかやや低めで推移しました。

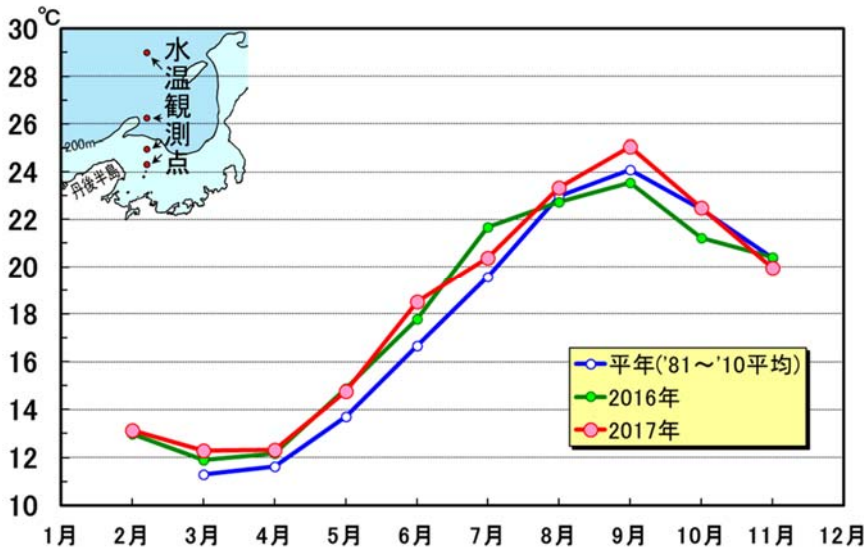
京都府沿岸(伊根町新井崎地先 水深64m)の水温(50m深)



月平均水温と平年差(括弧内)

単位: °C	50m 深
1月	13.9(+0.2)
2月	12.6(+0.7)
3月	12.7(+0.8)
4月	13.6(+0.5)
5月	16.5(+1.1)
6月	19.0(+1.4)
7月	22.0(+1.5)
8月	欠測
9月	21.2(-0.3)
10月	20.9(-0.5)
11月	18.9(-0.5)
12月	欠測

京都府沖合の表層水温(0~50m深平均)



各月水温と平年差

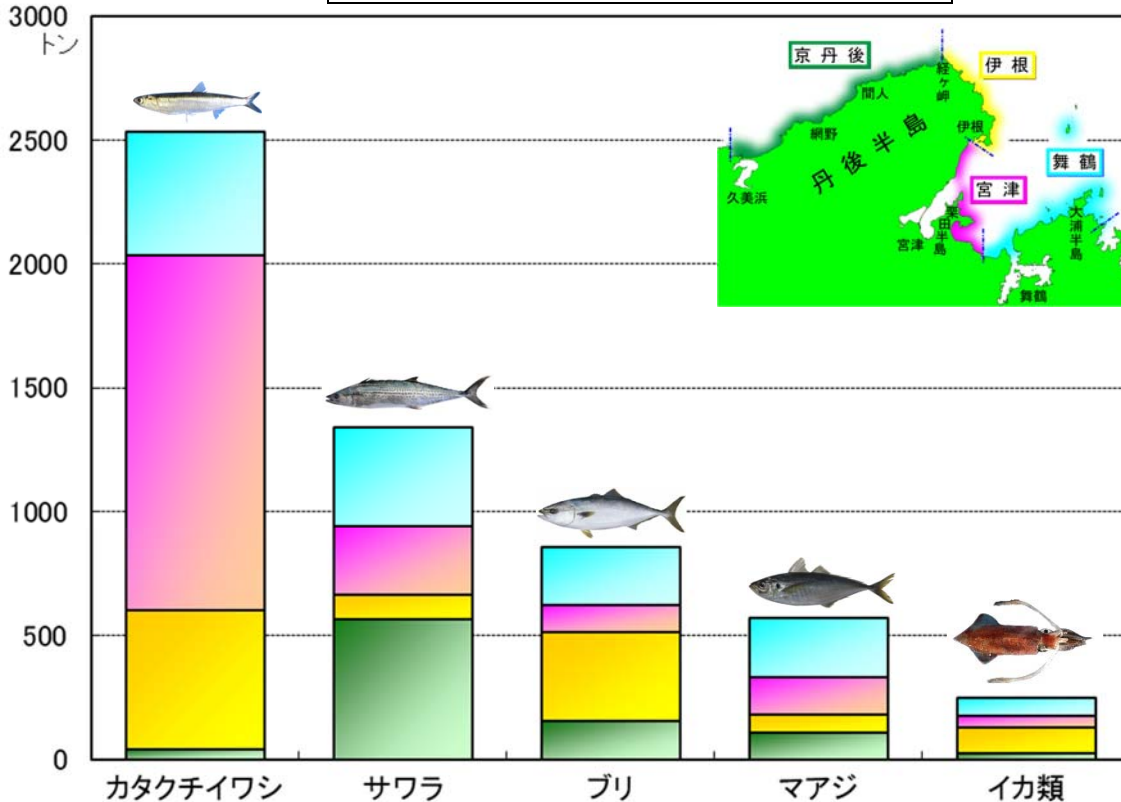
単位: °C	水温	平年差	評定
1月			観測なし
2月	13.1		データ過少につき評定なし
3月	12.3	+1.0	かなり高め
4月	12.3	+0.7	やや高め
5月	14.8	+1.1	やや高め
6月	18.5	+1.8	はなはだ高め
7月	20.4	+0.8	かなり高め
8月	23.3	+0.3	平年並み
9月	25.1	+1.0	やや高め
10月	22.5	+0.1	平年並み
11月	20.0	-0.4	やや低め
12月			観測なし

# 漁模様 ～2017年1月から12月まで～

## 【定置網漁業】

カタクチイワシやスズキが好漁でした。一方、サワラ、ブリ、マアジ、イカ類が例年より不漁でした。全体の漁獲量は平年の8割弱（前年の9割）と低調でした。

2017年の地域別漁獲量(上位5魚種)



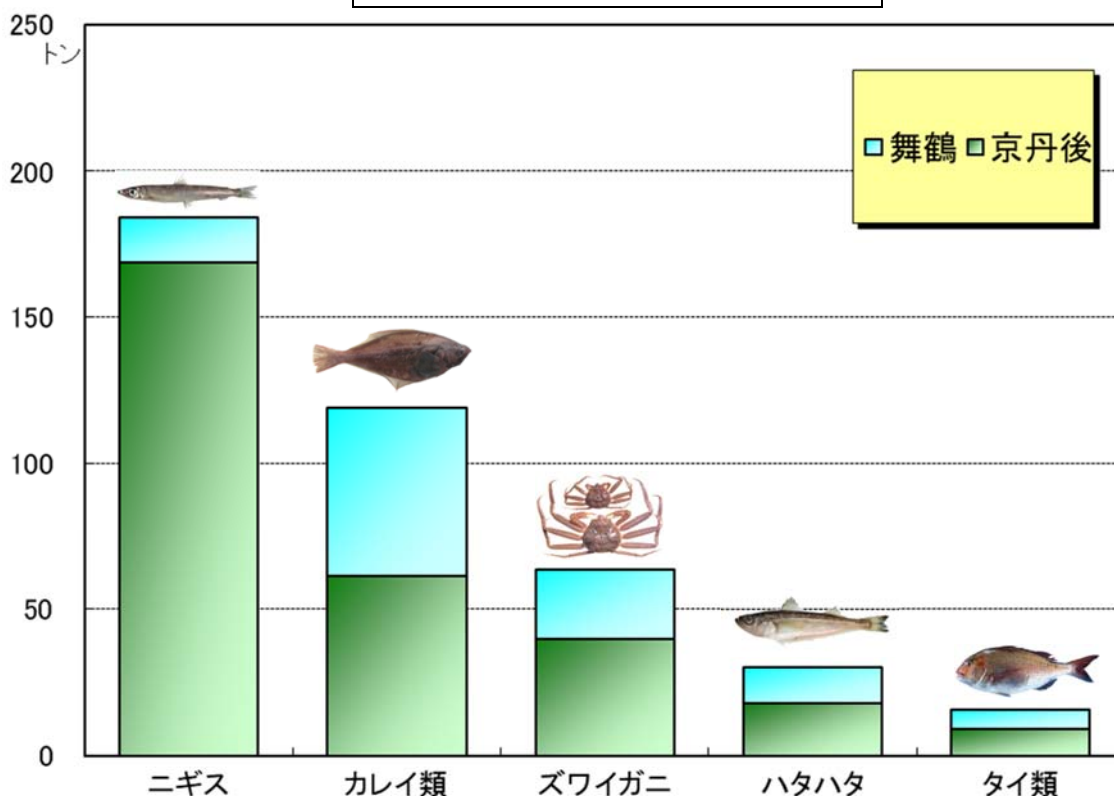
年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	2533.3	1852.2 (137%)	2386.0 (106%)	<サワラ> やなぎ銘柄(体重 0.4kg 未満)が 14 トン, さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が 926 トン, さわら銘柄(体重 1.0kg 以上 3.0kg 未満)が 317 トン, さわら大銘柄(体重 3.0kg 以上)が 81 トンでした。
サワラ	1338.8	1826.0 (73%)	1717.4 (78%)	
ブリ	853.5	1094.3 (78%)	1269.5 (67%)	
マアジ	568.5	978.6 (58%)	1277.0 (45%)	
イカ類	248.2	299.4 (83%)	370.5 (67%)	
シイラ	211.7	257.8 (82%)	224.5 (94%)	<ブリ> つばす銘柄が 496 トン, はまち銘柄が 107 トン, まるご銘柄が 42 トン, ふり銘柄が 208 トンでした。
スズキ	183.1	225.7 (81%)	132.0 (139%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が 68 トン, アオリイカ(秋いか)が 68 トン, スルメイカが 67 トン, ヤリイカ(冬いか)が 28 トン, ソデイカ(たるいか)が 12 トンなどでした。
トビウオ	156.7	157.9 (99%)	174.3 (90%)	
サバ類	142.5	202.8 (70%)	231.8 (61%)	
カツオ類	107.0	45.7 (234%)	153.9 (70%)	
その他	928.6	1178.9 (79%)	1580.6 (59%)	
合計	7272.0	8119.4 (90%)	9517.4 (76%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

主要な魚介類の中では、ニギスが平年の1.7倍（前年の1.5倍）と好漁でした。一方、カレイ類が平年比6割弱（前年の9割強）、ハタハタが平年比3割弱（前年の7割強）と少漁でした。全体では、平年の8割弱（前年並み）の水揚げでした。

2017年の漁獲量(上位5魚種)



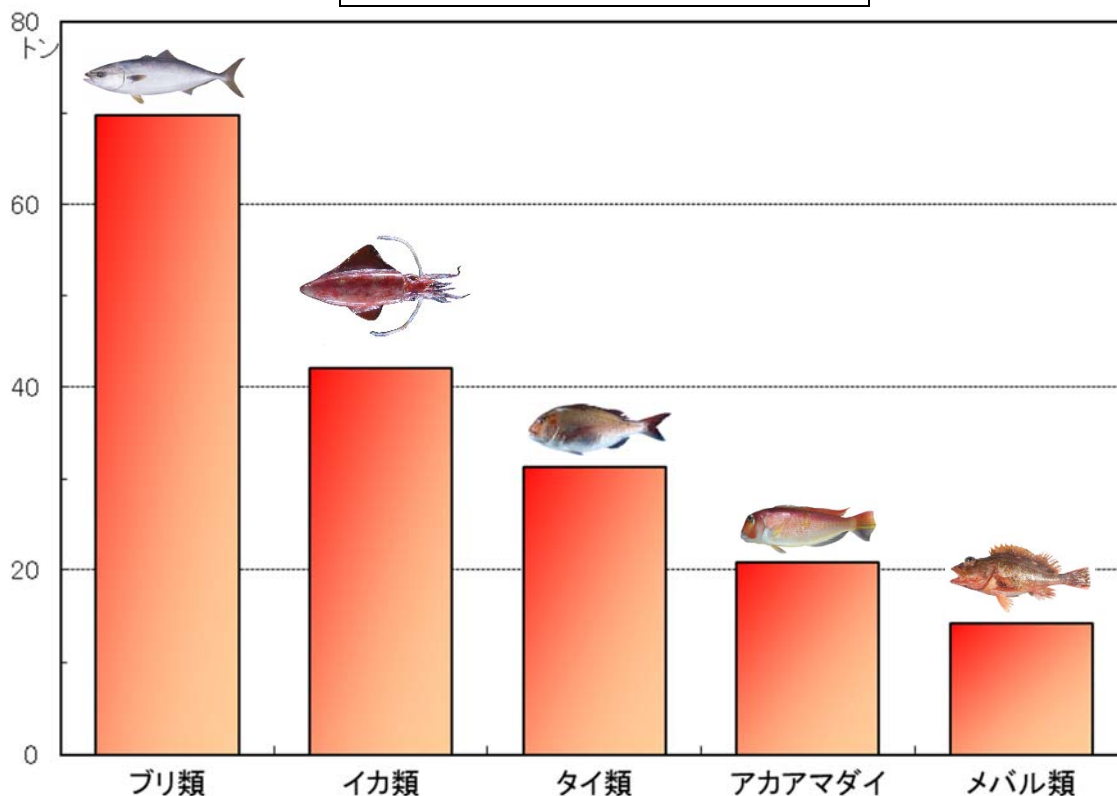
年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖ぎす)	184.3	122.9 (150%)	107.4 (172%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が70トン、ソウハチ(えてがれい)が27トン、ヒレグロ(黒がれい)が14トン、ヤナギムシガレイ(ささがれい)が3トン、ムシガレイ(水がれい)が4トンなどでした。
カレイ類	118.8	128.1 (93%)	203.9 (58%)	
ズワイガニ	63.4	76.7 (83%)	82.6 (77%)	
ハタハタ	29.9	40.6 (74%)	110.9 (27%)	
タイ類	15.8	16.1 (98%)	14.2 (111%)	
アンコウ類	9.2	9.1 (101%)	20.2 (46%)	<ズワイガニ> オス(間人がに・舞鶴かに)が33トン、メス(せこがに)が30トンでした。
エビ類	8.4	8.4 (100%)	7.5 (112%)	
タコ類	5.5	8.8 (62%)	10.5 (52%)	
タラ類	4.6	7.9 (58%)	4.6 (100%)	
イカ類	4.6	11.3 (40%)	8.4 (54%)	
その他	41.6	53.3 (78%)	49.7 (84%)	
合計	486.0	483.2 (101%)	620.0 (78%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚げ量は、平年の8割弱（前年の7割強）でした。

2017年の漁獲量(上位5魚種)



年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ類	69.8	97.5 (72%)	63.6 (110%)	<ブリ> つばす銘柄が23トン、はまち銘柄が12トン、まるご銘柄が11トン、ぶり銘柄が24トンでした。 <イカ類> ソデイカ(たるいか)が23トン、スルメイカが9トン、ケンサキイカ(白いか)が6トン、ヤリイカ(冬いか)とアオリイカ(秋いか)が若干量でした。 <タイ類> マダイが20トン、キダイ(レンコダイ)が10トン、クロダイとチダイが若干量でした。
イカ類	42.1	67.8 (62%)	82.4 (51%)	
タイ類	31.3	40.5 (77%)	36.7 (85%)	
アカアマダイ(ぐじ)	20.9	23.8 (88%)	23.3 (90%)	
メバル類	14.2	15.5 (92%)	14.9 (95%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	8.7	5.4 (162%)	7.5 (117%)	
サワラ	8.2	19.7 (42%)	26.9 (30%)	
ヒラマサ	2.4	1.9 (124%)	1.1 (219%)	
スズキ	1.4	1.8 (79%)	2.4 (59%)	
カレイ類	1.3	1.1 (114%)	1.4 (89%)	
その他	16.8	16.3 (103%)	29.9 (56%)	
合計	217.1	291.4 (74%)	290.2 (75%)	

平年は過去10年平均



## 【2017年の特異的なできごと】

冬

- ・カタクチイワシが定置網でまとまる  
(1~3月に平年比1.3倍の650トン)。
- ・寒ブリが定置網でふるわず。  
(1月は平年比1割弱の4トン)
- ・マアジが定置網でふるわず。  
(1~3月に平年比4割弱の75トン)



春

- ・4~6月に平年より高い水温が続く。  
(6月は平年比+1.8℃とはなはだ高かった)
- ・サワラ(さごし銘柄)が定置網でまとまる。  
(4~6月に平年比2.4倍の459トン)
- ・サバ類が定置網でまとまる。  
(4~6月に平年比1.8倍の56トン)
- ・マアジが定置網でふるわず。  
(4~6月に平年比4割強の233トン)



夏

- ・高水温が継続  
(7月は平年比+0.8℃とかなり高かった)
- ・マアジが定置網でふるわず  
(7~9月に平年比6割の160トン)
- ・サワラ(さわら, サワラ大銘柄)が定置網でまとまる  
(7~9月に平年比1.9倍の169トン)
- ・サワラ(やなぎ, さごし銘柄)が定置網でふるわず  
(7~9月に平年比2割強の187トン)



秋

- ・10月に台風21号による被害が多数発生
- ・寒ブリが11月に定置網でまとまる  
(11月に平年比16倍の63トン)
- ・ブリ(つばす)が定置網でふるわず  
(10~12月に平年比4割強の139トン)
- ・サワラ(やなぎ, さごし銘柄)が定置網でふるわず  
(10~12月に平年比2割強の147トン)



伊根浦漁業株式会社のFacebookページより  
(画像一部切取)

# 京都府近辺の海況簡易表示ツールの紹介

九州大学応用力研究所が HP 上で公開している、京都府海域および若狭湾の海況（水温、塩分、流向流速）の予測シミュレーション結果を簡単に表示できるツールを開発しました。どうぞご利用ください。

## 【外観】

**DREAMS-W 簡易表示ツール** (c) 2017 京都府農林水産技術センター海洋センター

日本時間	2018 年 3 月 10 日 17 時 30 分	前へ		
世界標準時	2018 年 3 月 10 日 8 時 30 分			
水深	10 m	表示項目	◎ 流況 ◎ 水温 ◎ 塩分	描画
表示海域	◎ 京都 ◎ 全体	表示方法	◎ 相対表示 (カラースケールが変動します) ◎ 絶対表示 ※流速のみ (カラースケールは最大0.75m/s (約1.5ノット) に固定されます)	

※ 以下の表示は九州大学応用力研究所のサイトのページ内容です。利用の際は同サイトの規約に則ってください。

DR\_W: Wakasa-Bay Model  
428日 10時 (10282.0時) 予報 : 2018年03月10日 08時30分 UTC, Sea Current at Model Level [m/s] ベクトル背景, Mag of Sea Current at Model Level [m/s]

Bckgr: Mag of Sea Current at Model Level [m/s]+Sea Current at Model Level [m/s];  
08:30Z10MAR2018 UTC (ANL); Dep=10 m

入力ファイルの更新時刻 07:09 14 Mar 2018 UTC

## 【特徴】

- 描画ボタンを押すだけで現在の流況予測を見ることが可能
- スマホやPCで閲覧可能
- 入力項目が簡単でわかりやすい
- 水深や表示項目等が選択形式で操作が簡単

## 【公開 URL】

[https://dreams-c.riam.kyusyu-u.ac.jp/~dr\\_c/simpler/index\\_w.html](https://dreams-c.riam.kyusyu-u.ac.jp/~dr_c/simpler/index_w.html)

(右下の QR コードでもアクセスできます。)

本ツールに関するお問合せは海洋センター研究部まで。

